

災害から見た平安京—プロローグ

古代都市平安京／都市の光と影／災害史という視点／「京」の本質／平安京から「京都」へ

飢饉の惨状

養和の飢饉

『方丈記』／極限状態／死者の数／人口の集中

飢饉と環境

気候変動／凶作の原因／古代の気候変動

消えゆく村々

村の変貌／居住環境の変化と人びとの行動／人身売買

都市の求心力

・・・・・

村から都市へ／都市の求心力／飢饉と平安京／『方丈記』が描いた飢饉／源平の争乱／古代村落の変容／『池亭記』に見る平安京の変化／慶滋保胤の見た平安京の画期

洪水とその対策

洪水被害の実態

住人を悩ます自然災害／鴨川と葛野川／洪水の原因／排水が困難な地形

治水の試み

治水事業の開始／堤防の造成／流路の改修／鴨川の橋／四条橋・五条橋の建造／橋築造の社会的意義／祇園橋の鳥居

鴨川の河原

河原の利用／河原の市街地化／河原の範囲

疫病の流行

疫病と御靈会

都市と伝染病／奈良時代の疱瘡流行／平安初期の疫病／貞觀の御靈会／疫病と御靈

摺関期の疫病

正暦・長徳の疫病／貴族社会への甚大な被害／最悪の十年

恐れと祈り

住人祭祀の展開／御靈会の再興／御靈の性格／疫鬼遊行／〈鬼〉のイメージ／鬼を見る人／疫神を迎える施設／岐神・道祖神／疫病への恐怖とその対策／疫病流行と都市構造

地震の発生とその対応

平安初期・中期の地震

平安京と地震／平安初期の地震／貞觀大地震／一〇九一一世紀の地震

院政期の大地震

嘉保の大地震／地震に強い大型建造物／風に弱い構造／元暦の地震／鴨長明が描いた地震／貴族層は関心が薄かった

庶民住宅の被害

庶民住宅の地震被害／意外な圧死者の少なさ／庶民住宅の実態／鴨長明の庵／描かれた町屋／軽量な素材の庶民住宅／地震に対する観念

火災発生の状況と背景

火災都市・平安京

都市と火災／安元の大火／九世紀の大規模火災／一〇～一世紀の火災

都市の防火対策

藤原実資の記した火災の実態／実資の嘆き／火災に備えた町づくり／防火を意識した建物／慶滋保胤の居宅／『源氏物語』の描写

「町」の変化と火災

一一～一二世紀の火災／大路と小路／大路の意味／条坊制の変質／大路の矮小化と町屋の増加／「太郎焼亡」と都市構造／「次郎焼亡」

くり返す災害と変わりゆく平安京—エピローグ

画期としての一〇～一世紀／地形の特性／災害と思想

あとがき